

サプライチェーンとデジタル人材

静岡県中部未来懇話会 2020年度臨時社員総会



21年度事業計画案を承認

基調講演
パネル討論
コロナ後の企業の戦略探る

一般社団法人・静岡県中部未来懇話会の2020年度臨時社員総会が3月8日、静岡市葵区のホテルアソシア静岡で開かれた。正会員、特別会員、賛助会員

合わせて約100人が出席し、21年度事業計画案など

を原案通り承認した。

21年度事業計画の柱となる年間調査研究は「With コロナと企業の新戦略」をテーマにシンポジウムを行う。

日本の経済活動の情景を大きく変えた新型コロナウイルスの感染拡大。21年に入っても感染拡大が続き、東京や神奈川、愛知、大阪などに緊急事態宣言が発出された。

さらに静岡県では変異種ウイルスが発見されるなど国内の経済活動は大きく停滞し、失業者も増えた。一方で感染拡大は企業を中心に在宅勤務などが推奨され、多くの企業が時短やテレワークなどを導入し、オ

フィス中心の勤務形態の見直しにつながった。

これらを背景に研究テーマを具体的に討議するシンポジウムは春（6月）と秋（10月）に開く。春は「サプライチェーンの再構築に向けて」、秋は「デジタル化による人材活用」をテーマにそれぞれ基調講演とパネル討論を通じてコロナ後の企業戦略、人材育成などについて意見を交わす。

議事では21年度収支予算案も了承した。このほか、中部地域経営会議の2018年度の提言書「Society 5.0で輝く人材共創戦略」小さな協働と大きな連携で育む人づくり」に基づき、20年度に取り組んでいる事業の経過報告や運営委員、研究委員の一部変更についても報告了承された。新たな運営委員は勝間田雅人氏（静岡新聞社・

静岡放送社長室長）、研究部会長は竹下誠二郎氏（静岡県立大学経営情報学部学部長）、研究委員は伊東暁人氏（静岡大学人文社会科学部経済学科教授）が選任された。

総会の冒頭、当懇話会副会長の岩崎清悟静岡ガス特別顧問が挨拶に立ち、「当懇話会も新型コロナウイルスの感染拡大でイベントの中止や延期などの影響が出ましたが、インターネットを通じて特別講演会などを配信してきました。今後も中部地域の活性化に向けて講演会やシンポジウムなどを行ってまいりますので、よろしくお願ひします」と述べた。

総会後、共同通信社経済部長の宮野健男氏による総会記念時局講演会「コロナ禍2年目の日本経済の行方」が行われた。

（5〜7ページに講演抄録）